

永遠の安らぎの場所

香蘭社の
御壺

香蘭社

吉野桜

日本人に愛され、その美意識を育ててきた桜。
万葉のふるさと吉野の優雅で気品あふれる桜を
壺いっぱい咲かせています。



4寸 45,000円(+消費税)
[1142-KJS4]
径11.5×高14cm、木箱入



3寸 40,000円(+消費税)
[1142-KJT3]
径8.5×高12.5cm、木箱入



結露した水が抜けるよう、
3寸、4寸共に本体内部の
底に水抜き穴があります。

※サイズ違い(5・6・7寸)もございます。詳しくは担当者までお問い合わせください。

春 蘭

透き通るような美しい白磁の余白を生かしながら、スケッチから生まれた可憐な春蘭の絵柄を伸びやかにそして生き生きと表現しています。



3寸 28,000円(+消費税)
[1228-KJT3]
径8.5×高12.5cm、木箱入



4寸 38,000円(+消費税)
[1228-KJS4]
径11.5×高14cm、木箱入

ルリ胡蝶蘭

「ロイヤルブルー」と呼ばれる、香蘭社独自の深く透明感のある瑠璃釉に清楚で気品のある胡蝶蘭の花姿が映えるデザインです。



3寸 30,000円(+消費税)
[R1202-KJT3]
径8.5×高12.5cm、木箱入



4寸 40,000円(+消費税)
[R1202-KJS4]
径11.5×高14cm、木箱入

別売 覆袋 3寸用、4寸用 どちらも2色(青・緑)ございます。



3寸用 1,500円(+消費税)



4寸用 1,600円(+消費税)

香蘭社の伝統美が
やさしく包み込みます。



永遠の眠りにつかれた方が、安らかにおやすみになる骨壺。生前に「自分の骨壺」を作っておくことは、明治以前の日本各地ではごく自然に多く見られたもので、縁起が良いとされています。沖縄や韓国では今でも長生きのめでたい習慣として、子供が産まれるとその子の骨壺を作り祖先の霊に祈るといわれています。

Fine Porcelain of Royal Quality Since 1689



香蘭社 有田本店社屋



1878年 パリ万国博覧会 金賞受賞

香蘭社について — KORANSHA HISTORY —



八代 深川栄左衛門

初代深川栄左衛門が有田で陶磁器の製造をはじめたのが、江戸文化が花開いた元禄の頃。やがて日本にも近代化の波が訪れ、明治維新の激動期には、これまで有田焼を支えてきた佐賀鍋島藩の一切の保護と支援を失ってしまいます。

そんな中、八代深川栄左衛門は、当時の選りすぐりの陶工や絵付師、陶商たちを一つにまとめ、結社をつくりました。それが香蘭社のはじまりです。明治八年の発足以降、世界各国で開かれた万国博で数々の名誉金牌を受賞。海外でその評価を高めるとともに、明治二十九年には、宮内省御用達の栄を授かり今日に及んでいます。

有田色絵磁器の多様な文様を集大成し、時代と共に進化する伝統美は、「香蘭社スタイル」「香蘭社調」と称され、国内外で広く愛されています。

香蘭社

- 撮影・印刷の条件により、掲載商品の色、及び寸法が多少実物と異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- やむを得ない事情により、商品の仕様の一部を変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。